

1. 調査報告概要表

作成日 平成20年1月20日

【評価実施概要】

事業所番号	1276800081
法人名	社会福祉法人 長生会
事業所名	グループホーム だるまさん
所在地	千葉県長生郡長生村宮成3496 (電話) 0475-30-0123

評価機関名	株式会社 日本ビジネスシステム
所在地	千葉県市川市富浜3-8-8
訪問調査日	2008/1/15

【情報提供票より】(平成20年1月7日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成14年8月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	15 人
職員数	14 人	常勤	10人, 非常勤 4人, 常勤換算 11人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋 造り	
	2 階建て	2 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	40,000 ~ 60,000 円	その他の経費(月額)	10,000 円	
敷金	有() 円	○無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(300,000円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	350 円	昼食	550 円
	夕食	650 円	おやつ	300 円
	または1日当たり 円			

(4) 利用者の概要(1月7日現在)

利用者人数	15 名	男性	2 名	女性	13 名
要介護1	1 名	要介護2	5 名		
要介護3	7 名	要介護4	1 名		
要介護5	1 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 86 歳	最低	75 歳	最高	97 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	長生八積医院 長生診療所 古山歯科医院
---------	---------------------

株式会社日本ビジネスシステム

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

自然に恵まれた静かな環境の中に「グループホームだるまさん」がある。施設内は高窓が設置されていて空調・採光も良く開放的な空間となっており、外の眺めも良い。隣接している大きな公園は日頃の散歩コースになっており地域とのふれあいの場所になっている。地域との交流が大体的になされており、毎年行われる納涼祭は400名くらいの方々が参加している。また、併設しているデイサービスとの協同行事を通して地域との交流促進に努めている。入居者のペースに合わせた自由かつ柔軟な生活支援を行っており、なごやかな雰囲気を感じられる。職員の入れ替わりが少なく人材が安定しており、相互の信頼関係のもと安心できるサービス提供がなされている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	<p>前回評価においては特に指摘事項は無かったが、書類やマニュアルの見直しを行いサービスの向上に努めている。</p> <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>職員全員で自己評価票を作成し、外部評価の意義を理解している。評価項目と照らし合わせながら業務に対する気付きを大切に、細かい視点でのサービス提供を心がけている。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>地域の関係者を構成員として定期的に運営推進会議を行っている。施設の活動報告や意見交換を通して地域理解の促進とサービスの質の向上に努めている。市町村の介護保険運営協議会の委員・社会福祉協議会の評議員及び千葉県グループホーム連絡会の世話人を務めながら市町村との連携を図り、サービスの質の向上に努めている。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>入居者の生活状況については文書や電話連絡等で随時報告されている。意見や要望等については、面会時に直接確認していると共に、苦情窓口や意見箱を設置して家族の気持ちを汲み取る体制をつくっている。年に数回家族会を実施し、意見交換を通して事業計画の助案に活かしていると共に、各行事においての協力も得ている。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>多数の地域の関係者の参加・協力を得ながら夏祭りやバザーなどの行事を実施しており、地域の方々との交流の促進を図っている。自治会のゴミゼロ運動等の参加や介護者教室の開催により地域貢献も行っている。地域との日頃の関わりや中学生の職場体験の受け入れ・学童保育の小学生との交流等を通して気軽に行き来する関係づくりが出来ている。</p>

2. 調査報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人の理念を軸として、安心かつ柔軟な支援を主眼とした独自の理念をつくりあげている。職員全員で理念の内容を検討しており、今後も現状に則した理念をつくり続けることを心がけている。		
	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	事業所内に理念が掲示されていると共に、内部研修等で随時理念の確認及び共有化を図っている。理念に基づきアイデアを活かした柔軟な支援と入居者及び家族にとって安心できる支援を行っている。		
2. 地域との支えあい					
	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	納涼祭・餅つき大会・バザーなどの行事を開催し、たくさんの地域の関係者が参加・協力している。その他、毎月の行事においてフラダンスや太鼓などでも地域のボランティアの協力を得ている。自治会のゴミゼロ運動等に参加し地域協力も行っている。介護者教室を定期的に開催し、地域の方々に介護・福祉用具・消費者問題等の相談・指導を行っている。地域の中学生の職場体験の受け入れや学童保育の小学生との交流を通して気軽に行き来する関係づくりが出来ている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	職員全員で自己評価票を作成し、外部評価の意義を理解していると共に、業務に対する気付きを大切にしている。今後の評価結果を活かして業務を改善し、サービスの質の向上につなげたいと考えている。		
	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	民生委員協議会会長・介護保険運営協議会委員・老人クラブ会長・市町村健康推進課・自治会長・民生委員等の関係者を構成員として定期的に運営推進会議を行っている。会議では施設の活動報告等を行い、地域理解の促進を図っている。また、積極的に意見交換を行いサービスの質の向上に努めている。会議の記録は職員全員に回覧し、今後の議題や目標づくりの検討を行っている。		
	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市町村の介護保険運営協議会の委員及び社会福祉協議会の評議員を務めている。また、千葉県グループホーム連絡会の世話人として市町村との連携を図りサービスの質の向上に努めている。その他、障害大学・中学校・キャラバンメイト・ボランティアの講師依頼や市からの相談を受け付けている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	季刊誌である「だるまさんだより」を発行し、施設での活動の様子を写真入で伝えている。個人の生活の様子については毎月手紙で報告されていると共に、面会時にも家族に伝えられている。また、生活状況に変化があった場合は、随時電話連絡を行っている。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時に直接要望等を確認していると共に、苦情窓口や意見箱を設置している。意見・要望・苦情はほとんどないが、家族の言葉を傾聴し気持ちを汲み取るように心がけている。年に数回(4~6回)家族会を実施し、意見交換を通して事業計画の助案に活かしていると共に、各行事における協力も得ている。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	最近1年間において退職者は無く人材が安定している。また、ユニットごとの職員も固定しており、入居者に対する影響は生じていない。退職者が出たときは施設でお別れ会を実施して入居者の了承を得ている。新人職員については、慣れた職員と一緒に業務を行い入居者との信頼関係を築いている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	積極的に外部研修に参加しており、職員の質の向上に努めている。また、内部研修において外部研修の内容を職員全員に周知し、情報の共有化を図っている。自主勉強会も定期的に行っており、職員からも学びに対する意欲が感じられる。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域のグループホーム連絡会に定期的に参加しており、情報交換や勉強会を行っている。また、相互の見学会も行っており、相互の優れた部分を取り入れながらサービスの質の向上に努めている。施設の納涼祭に他のグループホームの方を招くなど交流の促進にも努めている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居前の面接や体験入居を通じて、本人及び家族の希望や思いを受け止めている。ショートステイの利用を通じ、馴染みの関係を築いてから入居される方もいる。入居後は生活に慣れるまで本人のペースを主体とした支援を行っており、外出や外泊等の個々の希望にも応じている。また、状況に応じて家族の協力も得ながら安心かつ安定した生活がおくれるように支援している。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>共同生活を意識し、お互い支えあう関係ができている。また、料理・掃除等の共同作業を通して日常生活から学ぶことも多い。本人の意向をしっかり受けとめながら生活活動に参加していただき、いきいきとした生活がおくれるように支援している。</p>		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>センター方式のアセスメントや日々の対応で相手の意向を把握している。また、日々の気づきや職員間の情報交換を通して本人の意向に沿った支援を行っている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>家族にも基本情報を記入していただくなど情報収集をしっかり行った上で職員全員でカンファレンスを行い、本人本位の介護計画を作成している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>定期的に評価を行い、計画の見直しを行っている。入居者の状況が変化した場合は家族と相談しながらその都度見直しを行い、適切な支援ができるようにしている。また、24時間のアセスメントシートを職員全員で記入しており、日々の生活変化に対する気づきを大切にしている。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>看護体制や通院支援により体調変化に対する支援がしっかりとされている。本人の希望に応じてお墓参りや馴染みの店への買物等の付き添いを行っている。併設しているデイサービスとの協同行事や交流もあり、生活の活性化が図られている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	希望のかかりつけ医を中心として受診支援を行っている。かかりつけ医や家族との連携を大切にしており、施設の看護師とも協力しながら状況変化に応じた対応がとられている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	契約書に看取りに関する方針が明示されており、家族の了承を得ている。施設での看取りの実績はないが、医師や家族と相談しながら施設としてできる最大限の対応は行っている。今後、家族会で重度化や終末期に向けた方針について再検討していく予定である。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人の書類等については書庫で保管し個人情報の保護を図っている。日常的にも入居者のプライバシーに配慮した言葉かけに注意して相互の信頼関係を大切にしている。職員間の申し送りについては、入居者の前では個人名を出さないように配慮している。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	食事の時間以外は日課に取り決めが無く、本人のペースで自由に過ごしてもらっている。本人の希望に応じて調理や掃除等の生活活動に参加してもらったり、散歩・買物・ドライブなどの外出支援を行っている。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	献立づくりや調理・盛り付け・後片付けを職員と共同で行っていると共に、同じテーブルで食事を囲み、楽しく食事ができるような雰囲気づくりを大切にしている。月に1回外食会を実施しており、食に対する楽しみを広げている。		
23	57	入浴を楽しむことのできる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	本人の希望や状況に応じて適切な入浴支援を行っている。入浴については両ユニット協同で毎日実施できる体制になっている。檜づくりの浴槽と広々とした浴室により、ゆったりと入浴できる環境づくりがなされている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	個人の生活歴や特技を活かして家事・畑仕事・作品作り等を共同で行っている。体を動かすレクリエーションも実施しており運動機能の維持・向上にも努めている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	定期的な外出会や外食会を実施しており入居者と職員で楽しみを共有している。また、地域の文化祭やカラオケ大会にも参加している。天候や体調に応じて散歩も日々実施しており、入居者の気分転換を図っている。近くにある公園を散歩しながらゴミ拾いも実施し、環境保全にも貢献している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中はセンサーを活用しながら鍵をかけずに支援している。外に出た場合でも無理に引き止めず、見守りや言葉かけにより柔軟に支援している。居室の鍵は設置していない。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	地域の消防署の協力のもと非難訓練を定期的実施している。緊急時の対応については施設内に掲示されており、職員に周知徹底が図られている。災害時における地域の方々との協力体制や施設の備蓄については、今後検討していく予定である。		災害時における地域との協力体制を確立し、万全な災害対策を講じることを希望します。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	本人の好みや能力に合わせて適切な食事提供を行っている。食事や水分摂取の記録もしっかり行っており、摂取量が少ない場合は、本人が食べたいものを中心に必要な栄養を補給している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	採光も良く全面バリアフリーでゆったりとした空間づくりがなされている。また、周囲の見晴らしも良く、入居者の気分転換にもつながっている。お互いのユニットが自由に行き来できるように通路がつくられており、相互の交流が図られている。共有空間には入居者がくつろげるようにテーブル・ソファ・和室スペースが配置されており、居心地よく過ごせるように配慮されている。ベランダの通路が両ユニットにつながっており自由に入出りできるようになっている。敷地内に畑があり、季節の花や作物を協同で栽培している。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者の希望により自由に馴染みのものを持ち込むことや畳を敷くことも可能であり、居心地よく生活が出来るように配慮されている。また、各居室にナースコールが設置されており、安心して生活ができるようになっている。夫婦での入居の場合は2人部屋として利用することも可能である。全居室にエアコンが設置しており空調も適切に行われている。		